

又労組の幹部の大事な仕事は、働き易い良い職場環境をつくる責務があるわけですが年4回の賃上げ、ボーナス交渉で終始してきたがこれが年1回の協定でこと足ることになり、その時間を環境づくり、組織づくりに振り向けられるようになり、6年間の歴史で健全な労使関係が確立されたと申せます。

最後に労使問題について最低必要な三つの事項を申し上げ結びといたします。

1. 個人の尊厳、人間性の尊重が、労使双方に絶対必要であること。
 2. 労使は個人対個人の信頼関係だけでなく、組合と経営者との信頼関係、組織としての信頼関係が必要であること。
 3. 生産性と向上と結びつく正しい人間関係の在り方を常に追求すること。
- 尚現在の組合組織は、殆んど新組合一本と云うまでになり、労使双方企業の発展に努力して居ります。

＊ F・コンウエイ会長にたずねる

“検討”と云うことについて説明してみましよう。検討と云うことは、現在あることを調べ直して見ることを意味します。現在あるもの現在あるもの現在なつていることを、すべて調べ直して見ようではありませんか、これを今すぐやつて下さいませんか！“今すぐやる”と云うことを、私は生涯の処生訓の一つにしています。この方針を守つてきたため、私は何事であれ、より多くの事をなしとげてくることができました。これを守つていれば、仕事が溜つてしまうことがないからです。すべてのクラブ、すべての地区に対し、現在行なつて活動の吟味検討して下さい。強くお願いいたします。検討の目的は、クラブの行つていることが真に価値のあるかどうかを調べることにあります。検討してみて良いと判れば、そのまま続けて下さい。可もなく不可もない。あるいは時代おくれとなつてると判れば、中止して何か他の活動対象を探して下さい。

皆さんのクラブで最後に事業活動を行なつてからどのくらい経つているのでしようか。人生において静止しているものは何一つありません。悲しい事に私達は生きることを始めたということは、同時に死ぬことを始めたことでもあるのです。もう一つ悲しいことに進歩を止めることは、退歩が始まることを意味するのです。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第277号

1969~1970-8-27

函館北ロータリークラブ

第263回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

＊ 出席報告

8月20日出席 会員44名 出席86名 欠席8名

前回の出席 会員44名 出席82名 欠席8名 メイキヤツプ7名 97.78%

他クラブ状況 7日函館RC 90.60% 12日函館東RC 95.12%

本日のプログラム

会員卓話 “石油と生活”
山内文男会員

第262回例会の記録 8月20日

＊ 司会 木屋守迪副会長 米 斉 唱 それこそロータリー
＊ ビジター 奏豊彦君(川越RC埼玉県、酒精飲料小売)

大久保智徳君(松前RC)

函館RC 阿部文男君外11名

函館東RC 大村宝一君外11名

＊ 幹事報告

1. 1970~71年度350地区ガバナーノミネーが決定しました。
第1分区から第5分区 河野通正君(深川RC、石炭販売)
第6分区から第10分区 伊藤元一郎君(北見RC、百貨店)
2. 新ロータリークラブ設立報告(何れも仮クラブ)
佐呂間RC、清里RC、恵庭RC、三ツ石RC
3. 長万部RC 例会場変更 8月18日例会から長万部商工会館
4. 過日国際奉仕委員会が中心になり、催されたハーバー氏追悼式の写真を回覧いたします。

* ニコニコボックス

1. 深瀬鴻一郎会員、新善次会員、遠藤尚義会員、成沢善次郎会員 68～69 年度出席100%のお祝を頂き。
2. 関本宏会員この度クレーン車増車をいり増々ご発展あることを祈ります。
3. 岩塚陽一会員 輪厚コンペゴルフ大会で優勝おめでと。

* 啓簡掲載 東半球部々長 ケンドル・W・ヤング氏

函館北R C元会長飯田神生殿

拜啓 貴殿のご提出された拡大調査の詳しい報告に基き貴地区の秋山ガバナーは七飯町地域に新ロータリークラブを結成することを承認されました。ロータリーに於いて、新クラブの結成ほど努力を要し、また奉仕の喜びの多い活動はないのではないのでしょうか。同地域の職業人の方々は貴殿のご尽力によつてロータリアンになり得たことを記憶され感謝されることと信じます。当事務局の職員一同は新クラブの加盟申請書類の到着を楽しみにしてお待ちいたしております。

* 東ヶ峰会長の開会の辞より（国際大会に於いて）

“共に過す日々”の一節「最後にご婦人方に一言申し上げます。今後ご主人はロータリーのために、なお一層の時間と努力とエネルギーを割かねばなりません。ロータリーは、ご主人の愛情を皆さんと競う大きなライバルとなるでしょう。しかし皆さんに対する真の愛情はゆるがぬものであることを固く信じておられるならば、ご主人はやがてより立派な人物となり社会のために貢献して皆さんのお傍にもどられる筈であります……」

* 卓話 “労使問題” 弘前相互銀行函館支店長石見普二男氏（函館東R C）

函館R Cでも同様な演題でお話しましたが銀行員であり、また青森県合唱連盟の理事長でもあつた私がなぜ場違いな感じのする演題を選んだかと申しますと、入行以来14年の銀行員生活のうち7年間を組合活動に没頭したこと、そしてそのうち6年間は極左的労働運動との対決であつたこと、その体験から健全な労使関係がなくして、企業の永続的発展はありえないと確信したこと等からであります。

当行は、創立者である現社長（92才）の信念である家父長的人間関係によつて企業の発展を計つてきたものでありましたが、企業の発展と共に組織が膨

年頃にフランスのアルガンがランプ発明石油の灯を点じた。1883年ダイムラーが自動車用ガソリンエンジンを発明、1890年アクロイドが燃玉機関発明、1893年ディーゼルがディーゼル機関発明19～20世紀にかけて石油は灯油、重油、ガソリンと人類の生活に密着し利用の途が開発されたのです。そして才一次、才二次世界大戦と続き平和時代が訪れて来ました。石油も今は大油田が次々と開発され石油はありあまる程になりました。そして化学工業の原料として無くてはならないものになつて来たのです。

合成ゴム・合成繊維・合成樹脂・化学薬品・塗料・染料・化学肥料・各種溶剤・合成洗剤に至るまで、あらゆる方面に顔を出しています。

石油と日常生活 オイルエイジと呼ばれる、現代の我々の日常生活にしても又あらゆる産業活動にしても、すべて石油が関係を持つているのは驚くほどです。時計、ミシン、自転車の潤滑油、家庭用熱源の都市ガス、プロパン、灯油、電気、我々の着ているナイロン、テトロン、塩化ビニール、アクリルの合成繊維、害虫駆除用の石油乳剤、肥料としての尿素、プラスチック製品、ポリエチレンの合成樹脂又最近注目されているのは、石油から直接蛋白質を合成する方法で現在工業化されつつあります。その他洗濯に使用される化学洗剤、シャンプー等も石油から作られます。まづたく我々の生活は石油の中に入りまづていると考えてよいでしょう。

石油の寿命 石油は石炭と同様に決して無尽蔵ではありません。石油の寿命も年々更新されます。最近では40～60年と云われています。探鉱技術も発達しどんどん新しい油田が開発され、回収技術の向上等からまだまだ石油の寿命はのびるでしょう。したがつて掘りつくされて資源がなくなつてしまふ恐れはまずありません。オイルシエール、タールサンドなどから乾溜で油を取りだす。経済的な方法をすでに完成したとも云われております。